



海外MICE
Report

The Ultimate DOWNLOAD-Asia's Leading Meetings & Events Destination

世界各国のミーティングプランナーに究極の体験を

サンズ・リゾーツ・マカオ

サンズ・リゾーツ・マカオ^{注1}は6月25日から28日までの4日間、世界各国の大型イベントや展示会、国際会議を企画するミーティングプランナーを対象としたMICEビジネスのショーケース「The Ultimate DOWNLOAD」をマカオ・コタイ地区の統合型リゾート(IR)で行った。参加者はオーストラリア、ニュージーランド、米国、日本、韓国、シンガポール、インド、マレーシア、タイ、インドネシア、台湾、香港、中国本土といった各国のミーティングプランナーで約120人。それにともない世界各地からメディアも集まった。そこで、IRの先進地であるマカオでのイベント体験をレポートする。 本紙・池上龍朗

注1…サンズ・リゾーツ・マカオはST REGIS, FOR SEASONS, THE VENETIAN, THE PARISIAN, Holiday Inn, CONRAD, Sheraton Grandの7ホテルを擁するサンズ コタイ セントラルから成る

サンズ・チャイナ社^{注2}が運営するIRのサンズ・リゾーツ・マカオには、1万3,000室の客室とスイートルーム、850を超える免税ショップ、ミシュランの星を獲得したレストランを含む150店舗以上の飲食店、3つの劇場、展示会や大型イベントを開催できるアリーナ、トータル15万㎡のボールルームを含む会議室、そしてヴェネチアンマカオなど7つの国際的なホテルがある。これらのホテルや会議場などのMICE施設は地下通路もしくは回廊で結ばれているため、統合型が示す通りMICEや大型イベントの一体的な利用を可能にしている。その広さもかなりのもので、サンズ・リゾーツ・マカオの全容を把握するだけで一苦労だ。

今回、この大規模IR施設で行われた同イベントは今年で2回目。フランスをテーマにしたカクテルパーティ「Bon Vivant」からはじまり、イベント業界の専門家による会議「Ultimate Connect」やリゾート内の施設とサービスを紹介する「Ulti-Mart」、料理対決のチームビルディング「Ultimate Chef」、エンターテインメント体験の「Ultimate Show Time」など充実したプログラムとなった。

イベントの冒頭、サンズ・チャイナ社のルース・ポストン氏は、「従来のターゲットは中国、台湾、日本、韓国だったが、最近では米国、欧州からの予約数が増加している。このイベントを通じて、われわれのMICE施設のすばらしさを伝えたいし、マカオはユネスコの世界遺産も含めたすばらしい文化や遺産もあることを知ってほしい」と語った。

注2…サンズ・チャイナ社はマカオでのIRの開発、保持、運営を行う

1 : Ultimate Connect

カンファレンス

サンズ・リゾーツ・マカオによるプレゼンでは「マカオに国際空港ができ、現在は40カ国への航空乗り入れがある。そして今年中には香港とマカオを結ぶ橋がかかるため、フェリーのみならず車での移動が可能となり、交通インフラの利便性はさらに高まる」とマカオのロケーションや交通インフラを紹介した。

また、マカオIRがMICE開催地として選ばれる理由としては、「7つの国際ホテルやアリーナ、会議場などを一体的な利用が可能なおことから、大規模イベントでもワンストップサービスを提供できることがわれわれの強みだ」と、ミーティングプランナーが1つのコンタクトポイントでいろいろな仕事をしやすいことをアピールした。

その後、ゲストスピーカー3人が自ら手がけたイベントの最新事例や今後の課題についてスピーチした。

パネルディスカッション

最近のイベント動向、持続可能な取り組み、安全・セキュリティ対策の3点が議論された。論旨は次の通り。

○最近のイベント動向

米国ではイベントの重要性が増しているため、イベントの開催経費も上がる傾向にある。

中国ではクラウドやモバイルの進化により見積書や請求書などをプラットフォームで完結できるようイベントシステムが活用されはじめており、テクノロジーの進化がイベント運営のあり方を変えつつある。



オーストラリアではソーシャルメディアを多角的に使うイベントを要求されることが多くなっている。テクノロジーを利用して運営に支障が見つければ、数時間で対応・改善するように努めている。

○持続可能な取り組み

2020年以降はFace to Faceがより重要になるだろう。現代社会は社会貢献をしている企業を注目し、会社が何をしているか、その取り組みが重要視されている。特に持続可能な取り組みについては、地域に還元することが大切であり、例えばアフリカの寄付一つをとっても、単なる寄付ではなく、学校建設や自給できるように農園をつくって雇用を生む仕組みをつくるなど、その地域が発展するための持続性への準備が必要不可欠だ。

○安全・セキュリティ

MICE開催の選定地として多くの都市が候補に上がるが、誰も緊急事態に陥りたくないから政情不安定な都市は選ばない。その一方、ダークツーリズムのように、政治的に何か悪いことが生じた場所にあえて行きたがる人々を集めるツアーも生まれている。われわれは、私たちの世界がどんどん変わっていることを認識し、その対応を進めていかなければならない。

また、セキュリティ面では、個人情報保護の問題が最重要課題と言える。米国では個人情報の管理に対してたくさんのルールがつくられており、今後はイベント開催時における顧客情報の管理と共有化がますます厳格なものになるだろう。

2：エンターテインメント

日本のIR議論はギャンブルありきで、IRの良さが漠然としてしまいがちだが、IRとは本来、展示会場や国際会議といったMICE開催というビジネス目的と、エンターテインメントやショッピング、カジノといった娯楽が一体的に組み合わさることで、その効果が最大限に発揮される。例えばビジネスデイには自分が仕事をし、その間、家族が遊んでいるというようなことが可能になるため、家族連れでも安心してMICE開催地を訪れられる。そのため、IRには十分なエンターテインメントの要素が必要であり、求められる。

そこで同イベントでは、ザ・パリジャン・シアターで「ラ・パリジェンヌーキャバレー・フランセーズ」を観覧。また、アクティビティでは、338mのマカオタワー最上階でスカイウォーク、マカオのトレイルハイキング、美食文化体験、ホテルのバックヤード見学などのプログラムが組まれた。

Ultimate Chef

このイベントは指定食材と自由食材を組み合わせるオリジナル料理を作り上げるチームビルディングで、料理番組から着想を得たという。審査員はサンズ・リゾーツ・マカオの経営陣と料理長らが務めた。10カ国8チームが参加した料理対決の結果、日本を含むチームが優勝を飾った。

